

平成 21 年 4 月 30 日

沖縄電力株式会社

平成 20 年度決算について

平成 20 年度の収支については、収入面では、燃料費調整制度の影響などによる電灯電力料の増加により、売上高（営業収益）は前年度に比べ 116 億 15 百万円増(+7.2%)の 1,731 億 36 百万円となりました。

一方、支出面では、燃料価格の高騰による燃料費および他社購入電力料の増加などにより、営業費用は前年度に比べ 123 億 38 百万円増(+8.4%)の 1,590 億 49 百万円となりました。

以上の結果、営業利益は 7 億 23 百万円減(△4.9%)の 140 億 86 百万円となりました。また、営業外損益を含めた経常利益については、2 億 53 百万円減(△2.3%)の 107 億 17 百万円、当期純利益は特別損失（減損損失）を計上したことにより、14 億 67 百万円減(△20.8%)の 56 億 4 百万円となり、3 年連続の増収減益となりました。

当年度の販売電力量は、民生用では、電灯や業務用電力のお客さま数の増加があったものの、電灯において、検針期間が前年度に比べ短かったことなどにより、ほぼ前年度並みとなりました。一方、産業用では、大口電力において、平年に比べ降水量が少なかったことにより海水淡水化施設が高稼働となったことなどから、前年度を上回りました。

これを電灯、電力別に見ますと、電灯が前年度に比べ 2.0%減の 28 億 87 百万 kWh、電力が 0.9%増の 45 億 89 百万 kWh、販売電力量合計では、前年度に比べ 0.2%減の 74 億 76 百万 kWh となりました。

なお、当期の期末配当金については、1 株あたり 30 円を株主総会にお諮りし、中間配当金とあわせて、1 株あたり 60 円を予定しております。

平成 21 年度については、前年度に比べ 0.1%増の 74 億 83 百万 kWh の販売電力量を見込んでおり、売上高は 1,620 億円、営業利益は 147 億円、経常利益は 115 億円、および当期純利益は 72 億円を見込んでおります。

売上高については、燃料費調整制度に基づく下げ調整の影響などによる電灯電力料の減少により、前年度に比べ減少する見通しであります。

一方、費用については、電気事業において修繕費の増やその他費用の増、人件費の増などがあるものの、燃料価格の下落による燃料費および他社購入電力料の減、既設設備の償却進行による減価償却費の減などにより、減少する見通しであります。

別紙：決算の概要

以上

(別紙)

【決算の概要】

○平成 20 年度決算の概要

■連結経営成績 (3 年連続増収減益)

(単位：百万円)

	平成 20 年度 (実績)	平成 19 年度 (実績)	増減	増減率
売上高	173,136	161,521	+11,615	+7.2%
営業利益	14,086	14,809	△723	△4.9%
経常利益	10,717	10,971	△253	△2.3%
当期純利益	5,604	7,072	△1,467	△20.8%

■販売電力量

(単位：百万 kWh)

	平成 20 年度 (実績)	平成 19 年度 (実績)	増減	増減率	
電灯	2,887	2,945	△58	△2.0%	
電力	4,589	4,546	+43	+0.9%	
合計	7,476	7,491	△15	△0.2%	
参考	民生用需要	6,153	6,177	△24	△0.4%
	産業用需要	1,323	1,314	+9	+0.6%

○平成 21 年度業績予想

■連結収支見通し比較 (初の減収増益)

(単位：百万円)

	平成 21 年度 (見通し)	平成 20 年度 (実績)	増減	増減率
売上高	162,000	173,136	△11,136	△6.4%
営業利益	14,700	14,086	+613	+4.4%
経常利益	11,500	10,717	+782	+7.3%
当期純利益	7,200	5,604	+1,595	+28.5%

■電力需要見通し

(単位：百万 kWh)

	平成 21 年度 (見通し)	平成 20 年度 (実績)	増減	増減率
電灯	2,965	2,887	+78	+2.7%
電力	4,518	4,589	△71	△1.6%
合計	7,483	7,476	+7	+0.1%